



令和4年度 別海町教育行政執行方針のポイント

広報4月号の6ページから8ページに掲載した「令和4年度別海町教育行政執行方針」について、5月号では、学校教育推進のポイントを解説します。

令和4年テーマ

「勇気を持ってチャレンジできる人材の育成」 ～ポストコロナを見据えた多様な学びの保障を～

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症によるさまざまな影響を乗り越え、町民が学びを通じて心豊かな人生を送ることができるよう、ポストコロナを見据えた多様な学びの保障に努めます。

①「別海型コミュニティ・スクール(CS)」の活動の推進

「別海型CS」は、従前の「生涯学習推進協議会」のベースを生かし、学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進していくところに特色があります。今後は、統括コーディネーターや各地区のコーディネーターを中心に、学校課題や地域課題の解決とリンクする「地域学校協働活動」を促進していきます。

また「小中一貫教育」について、コミュニティ・スクールと親和性が高いことから、地域の実情を踏まえながら、学校の在り方について地域と一緒に協議を進め、令和4年度内に各学校区からの意見を取りまとめ、町としての方針に反映させていきます。

②「幼児教育」の充実

子どもたちの非認知能力を高める最も重要な時期は幼児期だと言われています。現行の学習指導要領で整理された資質・能力の「学びに向かう力・人間性など」を育成するために「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の育成を目指した幼児教育を充実させることや、小学校における「スタートカリキュラム」を充実させることが喫緊の課題です。

令和4年度も、引き続き教職員の研修を充実させるとともに、コミュニティ・スクールと連携し、保幼小中の一層の連携を図ります。

③「別海町生きる力アッププロジェクト事業」の実施

令和3年度、ふるさと教育推進のために「社会科副読本」を改訂し、また、キャリア教育推進のために「キャリア・パスポート」を作成しました。

令和4年度は、本町で学ぶ子どもたちが本町の学びの中からキャリア形成していける「ふるさとキャリア教育」を実現するとともに「結果としての学力」の向上の実現を目指して、先進地である秋田県大館市に教職員を派遣します。また「学びの土台づくり」を推進するため「別海町新聞の日」の取り組みや「別海町ビブリオバトル」など、読書活動の充実を図ります。

④「GIGAスクール構想」の推進

各校の創意工夫や各家庭の理解・協力により、本町においても令和3年度の1年間で、授業における活用はもとより、端末を家庭に持ち帰って活用する家庭学習の充実や臨時休業時の学習保障が加速度的に進みました。

令和4年度も、町教育委員会で示したロードマップをベースに、各校において「GIGAスクール構想」を積極的に推進します。また、メディアリテラシー教育の充実を図るとともに、より本質的なICTの活用が可能となるよう教員の研修機会を設定します。併せて、デジタル教科書やプログラミング教育についての研修機会も設定します。

⑤「教育相談」などの充実

不登校やいじめ問題の解決に向け、教育相談の充実を図り、引き続き学校と連携を深め、スクールカウンセラー「ふれあいるーむ」指導員、スクールソーシャルワーカーの積極的な活用を行います。

自死防止の取り組みについては、令和4年度も引き続き関係機関と連携し、中学生対象の「SOSの出し方教室」を開催するとともに、教員の研修機会を設けて自死予防教育の充実を図ります。

⑥「特別支援教育」の充実

支援を必要とする児童生徒が年々増加傾向にある中で、特別支援教育支援員を増員してきました。令和4年度は、さらに校内での運用の弾力化や町内における配置換えにより、支援員の経験やノウハウを生かすことで特別支援教育の一層の充実につなげます。また、関係機関との連携についても、一層の充実を図ります。

⑦ その他の取り組み

- ・英語教育の充実
- ・レッツ・チャレンジ学習支援事業
- ・安全な学校給食の提供と食育
- ・働き方改革

新しいALTが赴任しました



外国語指導助手（ALT）として、現在活躍中のマシューさん、トリナさん、先月号で紹介したクレヴァニンさんに加え、新たにドノホー・ルイ・ジョセフジェロームさんを迎えました。

ドノホーさんからのメッセージ

こんにちは。私はドノホー・ルイ・ジョセフジェロームです。イギリスのジャージー島から来ました。23歳です。

趣味は、スキー、ハイキング、料理です。現在、日本語を勉強しています。別海町に来ることができて幸せです。よろしくお願いします。

問合せ／学校教育・適正化等担当（内線3714）

郷土資料館だより ふるさと講座・自然系

郷土資料館から

第1回目「シギ・チドリ観察会」のお知らせ

この時期に数多く見ることができる「シギ」「チドリ」を中心とした観察会を行います。

ぜひ、ご参加ください。

- 日 時 5月8日(日) 午前9時30分から午後0時30分
- 場 所 野付半島（集合は野付半島ネイチャーセンター2階）
- 講 師 NPO法人野付・エコ・ネットワーク
- 定 員 10名（先着順）
- 申込み 電話にてお名前と電話番号を5月2日(月)または6日(金)にご連絡ください。
- その他 長靴をご着用ください。当館でも若干貸し出しますが、図鑑や双眼鏡をお持ちの方はご持参ください。



豊原分館開館のお知らせ

- 開館期間 5月から10月
毎週金曜日、最終日曜日
- 開館時間 午前10時から
午後4時

5月の休館日 1日、3日から5日、7日、9日、15日、21日、23日、29日

6月の休館日 4日、5日、13日、18日、19日、27日

問合せ／郷土資料館 TEL・FAX 75-0802 Eメール kyoudo@betsukai.jp



奥行地区文化財の一般公開について

奥行地区文化財建物内部の一般公開を下記のとおり行います。見学をする際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の取り組みにご協力ください。

- 公開期間 5月1日(日)から11月3日(休)
- 公開時間 午前10時から午後4時30分
- 休 館 日 月曜日 ※月曜日が祝日、振替休日の場合は開館
- 観 覧 料 無料
- 公開する建物 旧奥行臼駅通所、旧奥行臼駅、旧村営軌道風蓮線奥行臼停留所

問合せ／文化財担当 TEL75-0802